



**させぼ夢大学**

発行●公益社団法人 させぼ夢大学  
編集委員会  
事務局／〒857-0863  
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F  
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545  
https://www.yumedai.com/  
E-mail:sasebo\_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

# 夢のつぶき

## させぼ夢大学会報

No.354 (2025・12)

令和7年度  
第9回

2025年 **12月20日(土)**  
アルカスSASEBO 大ホール

開 場 13:30  
講 演 14:30 (終了16:00)  
今回、「夢のひろば」はありません。

第9回講演会は、テノール歌手の秋川雅史さんをお迎えします。

秋川さんの代表曲は、何と言っても、「千の風になって」。2006年、アルバム収録のカバー曲が話題になり、大晦日、「NHK紅白歌合戦」に初出場を果たしました。翌年、紅白の熱唱が大きな反響を呼び、CDシングル130万枚を売り上げ、年間オリコンチャート第1位を獲得。日本レコード大賞特別賞を受賞しました。

秋川さんは、愛媛県西条市出身。音楽を始めたきっかけは、テノール歌手の父の影響。4歳からヴァイオリンとピアノを習い、後に父の指導で声楽へ転向します。国立音楽大学、同大学院修了後、イタリアに留学し、4年間の研鑽後、帰国。「カ



ンツォーネコンクール”第1位等、数々のコンクールで受賞し、現在の地位を築き上げました。

秋川さんは、木彫りが趣味。出身の西条市は、「だんじり彫刻」が有名で、子どもの頃から彫刻に親しんできました。本格的に彫刻を始めたのは、40歳を過ぎてから。またたく間に才能が開花し、秋川さんは5年連続「二科展」に入選。日本木彫り協会の名誉会員でもあります。

現在、秋川さんは、実力・人気を備えたテノール歌手と同時に、彫刻家の二刀流で活躍中です。

今回、どんなお話と歌を聴くことができるのか、今からワクワクです。「夢のある人生 ～トーク&ミニライブ～」、どうぞお楽しみに！

あきかわ まさふみ  
講 師 ● テノール歌手 **秋川 雅史氏**

テーマ ● **夢のある人生 ～トーク&ミニライブ～**



### 次回のご案内

- と き／1月21日(水) 18:30～20:00
- 講 師／元衆議院議員 すぎむら たいぞう **杉村 太蔵氏**
- テーマ／プライドを捨てた男の人生訓

●北海道旭川市出身。派遣社員から外資系証券会社勤務を経て、2005年9月の総選挙で最年少当選を果たす。労働問題を専門に、特にニート・フリーター問題等、若年者雇用の環境改善に尽力した。

現在、テレビ・ラジオ・雑誌等で活動する一方、自身の経験を交えながら語る政治・経済をテーマとした講演活動を全国で行っている。

**12月の講演会は第3土曜日です。**  
開場は13:30です。ご注意ください！

### 秋川 雅史 氏のプロフィール

●愛媛県西条市出身。4歳より、ヴァイオリンとピアノを始める。後に声楽家である父の指導のもと、声楽の道へと転向する。

ユニークで軽快なトークを交えたコンサートを多数行い、「日本の名曲」等の幅広いジャンルの歌唱には評価が高い。「千の風になって」は、CD100万枚のセールスを達成。2007年の年間チャート1位を獲得した。





金谷俊一郎氏



■幕末の偉人たちの様々な活躍や生き様を知ることができました。

“人は落ちるところまで落ちたら、あとは上がるだけ。人の痛みや苦しみを知って、強く芽を出す”という言葉が、心に残りました。

佐世保市もみじが丘町●山川 芳香

■人生は、楽しいことより、むしろ苦しいことの方が多い。

定年を迎え、人生の後半戦を生きている今、「人の一生は、60からが面白い」や「苦難こそが『人の器』をつくる」といった先人の言葉や考えが、心に刺さった。

佐世保市潮見町●山田 毅

■史実は、信憑性だけではなく、その人らしさが何百年も受け継がれていくと語る金谷さん。その視点で、歴史的背景を考えたことがない私。

金谷さんの話に基づき、大河ドラマを見る時も、ちゃんと歴史的背景を勉強し、歴史の深さについて学びたいと思います。

佐世保市小島町●高増 香里

■今回の「夢のひろば」の佐世保合唱団。73年目を迎える歴史があるって、すごいですね。本日の講演内容と同じく、貴重なものなのです。

講師が出演されるテレビ番組を、興味深く、おもしろく見ています。2年後の大河のお話の中の「小栗忠順<sup>ただまさ</sup>」は、あまり聞くことのない偉人ですね。天才肌の幕臣だとか…。楽しみにしたいです。

佐世保市赤崎町●木村 典子

■ジーンと心に響きました！

懐かしい日本の名曲の数々。歌詞の一つ一つが味わい深く、一つ一つの言葉をかみしめるように丁寧に歌われる佐世保合唱団の皆さん。思い出の一つ一つが蘇ってきました。特に、最後の「ふるさと」は、歌声に心がこもっていて、子どもの頃に育ったふるさととの情景を感じることができました。

佐世保合唱団の皆さん、ありがとうございました。響きあるハーモニーに感動しました。

佐世保市江迎町●桜田 倫代

■昭和28年発足の佐世保合唱団。その沿革が、私の生まれと同じとは驚きだ。継続こそが力ですね。

中国のDNAは、天帝の発想だったのか、そして、幕末の偉人たちが少しでもすれ違っていたら、今の日本はなかったのか。そして、松陰の言葉で「(外的要因) 明かりの弱さより、(内的要因) 心の弱さにこそ問題がある」の言葉は心に響く。さらに、2027年の小栗忠順の大河ドラマ『逆賊の幕臣』は楽しみだ。

佐世保市東浜町●碓屋 秀俊

■幕末の偉人について、あまり知られていないエピソードを含め、高杉晋作の天才ぶりや吉田松陰の教育方法など、わかりやすく説明された。

偉人の多くが、若くして大きな働きをし、国を変革へと導いている。その才覚とエネルギーには、感服するばかり。しかも、20代で早逝した偉人が多い。人生をぎゅっと凝縮した生き様。長命だったら、もっと素晴らしい国になったのでは、と考えてしまう。今日の我が国にこそ、このような人材が求められているのではないだろうか。

佐世保市南風崎町●横山 春美

## 令和8年度(第35期)講演会 受講申込みについて

### 受講申込みをされる方の手順

①「夢のつづき」11月号同封の「払込取扱票」をもとに、郵便局で受講料を納入ください。

※各受講料は、「払込取扱票」に記載していますが、家族を追加・削除の場合は、金額が違ってきますので、確認のため、させぼ夢大学事務局(☎0956-25-9555)にお電話ください。

②納入が早い方から、順に「学生証」が郵送で届きます。

※早い方で、2月上旬から郵送する予定です。

申込みはお早めに

**早割!!** 現受講生の皆様には、早割価格の金額を「払込取扱票」に記載しています。

※早割期間は、令和8年1月30日(必着)までとなっていますので、納入は早めにしてください。

【参考】年間受講料の早割価格

・個人またはグループ 1人 19,000円 → **18,000円** (税込)  
・夫婦・家族(同居の方) 1人 18,000円 → **17,000円** (税込)

※一般受付(新聞等のはがきによる申込み) 期間  
令和7年12月21日(日)～令和8年2月13日(金)

### 法人学生の皆様へ

「夢のつづき」11月号発送と同時期に、各法人あてに文書を郵送しています。来年度も、法人として申込まれる際には、その手順にしたがって申込まれてください。

### 佐世保市中小企業勤労者福祉サービスセンター(ウェルズサセボ)会員の皆様へ

来年度も受講ご希望の方は、上の要領のとおり、申込まれてください。詳細は、12月末発行予定の「ウェルズサセボ広報紙1・2月号」をご覧ください。

令和8年度(第35期)講演会予定はウラ面をご覧ください。



# 過去を知り、未来を拓く 歴史を学べば、見える世界が広がる！

人生をおもしろくするのは自分！

佐世保市大瀧町 石川 史子

郷愁漂う日本の名曲。佐世保合唱団の皆さんの歌声は、その郷愁を私たちの心に届かせる伝道師のよう。心の底に染み渡りました。

また、その後の金谷俊一郎さんのご講演。幕末の偉人を「口上書き」に基づき、丁寧に教えていただきました。いつも思うことですが、させば夢大学の「夢のひろば」と、著名な講師による講演のセッ トは、とてもいいですね。ダブルの楽しさを感じます。

「おもしろきこともなき世をおもしろく」

特に印象に残ったのが、この高杉晋作の句。おもしろい人生にするかどうかは、自分の心持ち次第だという意味ですが、何かにつけて愚痴をこぼし、人のせい、世の中のせいにする自分への戒めの言葉であったかのように思います。

前向きに生きる！ この高杉晋作の人生訓は、私の道標になりました。

歴史は生きている

佐世保市原分町 小山 高直

「いい国（1192）つくる鎌倉幕府」

学生の頃、こうやって鎌倉幕府の成立年を覚ええました。しかし、現在の教科書に記載

## 講演を聴かれた感想をお待ちしています！

※締め切りは12月24日※（必着）  
※宛先は、させぼ夢大学事務局まで

されている成立年は、1185年！「いい国」の語呂合わせから、「いい箱（1185）つくる鎌倉幕府」に変わりました。

ショックでした。何十年も

前の小学生の頃から覚えていた成立年が、実は違うものになったとは。これまでの1192年は、源頼朝が征夷大將軍に就いた年。1185年は、頼朝が諸国に守護・地頭を置く権利を得て、支配体制を確立させた年。このことをもって、鎌倉幕府の成立とする見方が有力になりました。

また、関連して、「源頼朝」と思っていた肖像画が、別人であると定義されました。教科書からも、あつという間に消え去ってしまいました。

このようなことから、私は、「歴史は生き物」だと強く感じるようになりました。新しい発見や学者のたゆまぬ研究で、これまでの出来事を修正することに、歴史の生きしさを痛感しました。

今回の講師、金谷俊一郎さんは、その歴史の生々しさを、私たちにわかりやすく伝える職人と言えます。今回の講演会でも、幕末の偉人について、私の知識を覆すようなエピソードが、たくさん出てきました。歴史の見方・学び方を教えてくれた講演会。

70歳過ぎの私ですが、一日の人生を有意義に過ご

しながら、自分史をさらに発展させていこうと思います。

自分の信念を貫く潔さ

佐世保市八幡ノボネ町 松井 昭夫

何のテレビ番組だったか定かではないが、世界中が憧れる日本に生まれながら、あまりにも日本のことを知らない日本人が多すぎる。ヨーロッパやアメリカの大学生は、理系であっても自国の歴史・文化・芸術についての基本的な知識を持っている。「日本人は、日本のことをもっと知るべきだ」という内容の話をされていたのが、金谷氏であり、私の心の中に強く印象づけられたことを覚えている。

講演は、理事長の挨拶の中にあつた「日中関係の悪化」を受け止め、「中国はなぜ台湾にこだわるのか」を歴史的観点から話された。さすがである。本題に入り、「口上書き」を示し、幕末の偉人たちが7名の史実とたくさんさんのエピソードを紹介し、解説された。史実やエピソードは、真実より、その人物の「らしさ」に合っているからこそ、後世まで残るのだと言い、エピソードから何を学ぶかが歴史で一番大事だと語った。最後に、自分の人生は、自ら信じたことを進めていけば、道筋は開けていく、という言葉で締めくくった。

## 歴史から何を学ぶのか

※締め切りは12月24日※（必着）  
※宛先は、させぼ夢大学事務局まで

幕末の偉人たちは各々が、自分の信じる道・未来を考えて、自分の信念を貫いていったことが、よく理解できた。また、改めて、想像する楽しさに気づかされた。歴史コメンテーターの面目躍如である。

吉田松陰が2か月の平戸遊学のため、平戸往還を歩いている。雨中での早岐から佐世保・中里を通り、江迎までの八里の旅は、さすがに辛いものだったようだ。どんな思いでこの佐世保宿を歩いて行っただろうか、興味が湧いてきた。

歴史から何を学ぶのか

佐世保市大和町 新北 博美

歴史のことを話したい。知ってほしい。金谷さんは、歴史愛で溢れていました。私はというと、歴史の授業で話を聞くのは好きでしたが、年号を覚えるのが得意ではなく、歴史に対する苦手意識がありました。しかし、金谷さんは、「年号がおもしろい」と言われました。確かに、その年にはその物事が起こっただけではなく、それにまつわる様々な出来事、登場人物、他国との関係が存在します。それら全てを繋げていくと、見える世界がもっと広がっていくのかもしれない！と思えました。



11月 夢のひろば 佐世保合唱団「混声合唱」

③⑦ 中川 龍 なかがわ りゅう  
③⑧ 西村 二三子 にしむら ふみこ

佐世保史談会 名誉会長 中島 眞澄

である。

ほつれ毛を  
掻き上げながら  
作業後の  
休止をわれに  
倚りてくる妻

短歌の他に、民謡・校歌・大村小唄・西海音頭・相浦自衛隊歌・長崎医専の校歌、黒髪小学校や日野小学校などの多くの校歌などを作詞した。初代「佐世保短歌連盟」の会長として活躍し、昭和五七年四月、中川龍顕彰碑が実行委員の手で、九十九島観光ホテル前に建立された。八〇歳で永眠。



中川 龍

③⑧ 西村 二三子

(一九〇七～一九七七)  
福祉活動家

明治四〇年(一九〇七)九月、八幡町で提灯製造を営む木村重次郎の長女として誕生。元平戸藩士の祖父から、厳しい礼儀作法を継承された。母は七歳で他界、弟は「佐世保重工業(株)」の重役だった木村久吾である。昭和八年(一九三三)、西村満雄と結婚、二男二女をもうけた。同時期、羽仁もと子主催の

「全国友の会」が東京で開催、北村頌子と出席した。昭和四年、佐世保支部を結成、生活準備相談会等多くの行事を行い、会員も増えたという。佐世保大空襲で壊滅的な被害を受けた市民が、復興にあえいでいた頃、大陸から約一三九万人が浦頭に引揚げてきた時、戦地で女性の多くが性的虐待を受けた実情を調査し、昭和二十一年の同大会で報告し、大きな反響を呼んだ。昭和二十三年(一九四八)、二男が障害者として生まれたことで、佐々町の近藤益雄を訪ねた。同二八年、障害者の子を持つ親たちと、命ある限り生きてほしいと願い、「手をつなぐ親の会」を発足。親の啓発を行いながら、社会の偏見を取り除くための施設作りに奔走した。少数の親たちの会だったが、次第に広がりを見せることになった。昭和四二年、三〇人収容の社会福祉法人成人施設「長崎慈光園」を川棚町に誕生させた。共同募金の配分や各種の援助を受け、園舎も増築された。

(敬称略)



西村 二三子

## 事務局だより

★「自己研鑽」の場！  
来年度も、させば夢大学へ！！  
「講師陣が、すばらしいですね。」

こう話してくださる方が多い、令和8年度の講演会。政治・経済、芸能・文学、音楽、スポーツ、健康・福祉、教育・教養の各分野の著名な講師をお招きし、来年度、年8回の講演会を開催します。「この講師だけ、参加することはできませんか？」というお尋ねも結構ありますが、させば夢大学の特長は、各分野を偏りなく受講し、見聞を広め、「感動」と「発見」を、それぞれ感じとることを目的にしています。ただ、来年度は、会場の工事で

の関係で、5か月間で8回の開催となること、そして、8回で個人1人19000円(早割18000円)と、諸物価高騰により1回分の受講料が少々値上がりになることの二つについては、皆様にご了承いただきたいと思っています。また、夢のつづき11月号に添え、お送りした、郵便局の「払込取扱票」を紛失された場合は、再発行しますので、させば夢大学事務局(☎25-9555)へ気軽にお電話ください。現受講生には、一般の方々より1か月も早く優先し、ご紹介している来年度の講演会。申込み(受講料納入)次第、抽選なしで、もれなく来年度受講生となります。皆様、令和8年度も、自ら学び、考え、行う生涯学習として、させば夢大学をご活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 令和8年度(第35期)講演会予定

令和8年		
4月4日(土)	毛利 衛氏 (宇宙飛行士・日本科学未来館名誉館長)	『宇宙から見た地球生命のつながり』
14:30～16:00		
4月29日(水・祝)	水谷 隼氏 (元プロ卓球選手・卓球金メダリスト)	『打ち返す力』
14:30～16:00		
5月9日(土)	山田 邦子氏 (ものまね漫談)	『大丈夫だよ、がんばろう!』
14:30～16:00		
5月24日(日)	橋下 徹氏 (元大阪府知事)	『次世代のために 今できること』
14:30～16:00		
6月20日(土)	池谷 裕二氏 (東京大学薬学部教授)	『脳はこんなに悩ましい ～脳を知り、脳を生かす～』
14:30～16:00		
7月11日(土)	青島 広志氏 (作曲家・ピアニスト・指揮者)	『青島広志のおしゃべりコンサート』
14:30～16:00		
8月8日(土)	金子 恵美氏 (コメンテーター・元衆議院議員)	『働き方改革! 輝く女性が日本を救う』
14:30～16:00		
8月29日(土)	齋藤 孝氏 (明治大学文学部教授)	『50代からの“教養”格差』
14:30～16:00		

後援/佐世保市・佐世保市教育委員会

講師の都合や天災、その他不測の事態により、開催日時の変更や延期、または講師を変更して代替開催する場合があります。